

<様式3>

事業計画書要旨

(施設名：群馬県青少年会館)

| | |
|-------------------------|---|
| 1 申請者名 | 公益財団法人群馬県青少年育成事業団 |
| 2 管理運営方針 | <p>青少年団体活動の振興及び青少年の健全育成という群馬県青少年会館及び当事業団の目的に向けて、また、県の施策に沿った当事業団のビジョンに基づき、教育的効果のある利用者受入業務及び青少年健全育成事業等を次の8本の柱で積極的に展開する。</p> <p>①設置目的に沿った教育的効果のある管理運営、②平等・公平な利用とサービスの提供、③開かれた施設・魅力ある施設の運営、④安全快適な施設の管理運営、⑤利用促進を図るための積極的な広報・PR活動、⑥利用者のニーズを踏まえた施設運営、⑦青少年健全育成の積極的な推進、⑧施設の管理運営と青少年健全育成事業が一体となった効率的な運営</p> <p>成果目標：年間延利用者数 45,000人</p> |
| 3 サービス等を向上させるための取組 | <p>利用者の視点で常にサービス向上を図ることを心がけ、次の業務に取り組む。①教育的効果が発揮できる環境作り、②平等・公平な利用とサービス提供、③開かれた施設・魅力ある施設の運営、④来館者に対する接遇、⑤アンケートや聞き取り調査等の実施、⑥サービス向上に参考となる事例の情報収集、⑦施設設備の適切な管理、⑧職員間の情報共有化</p> |
| 4 利用者を増加させるための取組 | <p>新型コロナウイルスの影響により利用者の利用方法等が変化していることを踏まえ、現状を分析し、新たな利用者への広報活動などを実施し、多くの方に利用していただくための施策を実施する。</p> <p>施設の設置目的を踏まえて、青少年団体の利用促進を重点とし、利用していただくために必要な分析、対象者の選定、施策を実施する。</p> |
| 5 施設・設備の維持管理及び修繕の取組 | <p>施設設備の維持管理・修繕は不具合をすみやかに見つけ、可能な限り職員自らで早急に対応する。館内外の目視点検を毎日実施し、問題の早期発見早期改善に努め、利用者への影響を最小限に止めます。また、専門業者による点検整備が必要な設備については、業務委託により、緊急時において迅速な対応がとれる体制を確保する。</p> <p>防犯訓練、消防訓練を計画的に実施し、安全、安心な施設環境確保に万全を期する。</p> <p>全職員で除草や除雪などを行い、また、必要な外部安全講習等を修了した職員が刈払機作業を行うなど、外部委託せずに素早い対応と経費節減に資する。</p> |
| 6 地域団体(住民)との連携や地域貢献への取組 | <p>地元自治会及び近隣の高齢者施設、学校、近隣スポーツ施設等との連携、交流を密にし、効率的な施設運営に努めるとともに、引き続き良好な関係を築く。さらに、青少年育成事業の実施にあたり、事業の周知やボランティアの募集、参加協力等、県内の小中高等学校、大学等との連携を積極的に推進する。</p> |
| 7 環境保全に対する取組 | <p>資源の再利用、エネルギーの節約、CO2の削減等に積極的に取り組む。具体的にはエコキャップ活動の推進、LED電球等省エネルギータイプの器具導入や省エネモードの活用、グリーン購入法適合品の使用、クールビス・ウォームビズ対応、ドアの開放制限、県環境政策課の取組に参加、アイドリングストップ、エコドライブ、紙の再利用、ゴミの分別、節水、除草剤の不使用等の環境保全、資源節約に努める。</p> |

| | | | | | | |
|-----------------------|--|---|----------|----------|-----------|-----------|
| 8 | 青少年健全育成事業 | <p>県の施策に基づき、青少年の健全育成事業として次の事業を積極的に行う。</p> <p>①青少年指導者・ボランティア養成事業：「中学生・高校生交流ボランティア体験」「若者ボランティアフェスティバル」「青少年の参画による体験活動推進」「体験活動・ボランティア活動支援センター」</p> <p>②青少年の交流・体験活動事業：「心のバリアフリー事業」「親子ふれあい体験教室」「高校生写真講座」「交流文化体験」「企業コラボ体験活動」</p> <p>③青少年団体の育成及び指導事業：「青少年団体活動支援事業」「地域団体応援事業」</p> <p>④情報収集・情報提供システム事業：「ぐんま青少年ねっと」「青少年活動事例調査」</p> | | | | |
| 9 | 自主事業 | <p>公益法人として青少年の健全育成に寄与するため、次の公益目的の自主事業を自主財源により青少年会館で行う。</p> <p>①青少年活動：「青少年会館友の会事業」</p> <p>②地域連携協力事業：「地域連携協力事業」</p> <p>③補助事業：「団体補助」</p> <p>④広報事業：「新年交歓会」</p> | | | | |
| 9 | 年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 合計 | |
| 収 支 計 画 書 | 総収入 | 79,659千円 | 79,659千円 | 79,659千円 | 238,977千円 | |
| | 内 訳 | 指定管理料 | 67,499千円 | 67,499千円 | 67,499千円 | 202,497千円 |
| | | 給付費 | | | | |
| | | 利用料金 | 10,881千円 | 10,881千円 | 10,881千円 | 32,643千円 |
| | その他 | 1,279千円 | 1,279千円 | 1,279千円 | 3,837千円 | |
| | 総支出 | 79,659千円 | 79,659千円 | 79,659千円 | 238,977千円 | |
| 10 | 管理運営体制 (組織及び人員の 状況、障害者雇用の 状況) | <p>組織：館長(常務理事)以下の事務局体制をとる。</p> <p>人員：常勤役職員10名(常勤役員(館長)1名、正規職員5名、再雇用職員1名、契約職員3名)</p> <p>職員の勤務体制：1か月単位の変形労働時間制のローテーション勤務を行う。1日の中でシフト勤務(1日の開館時間9:00~22:00)を行う。</p> <p>有資格者経験者の配置：社会教育主事有資格者4名の他、防火管理者講習修了や必要な資格・経験が豊富な職員を配置。</p> <p>人材育成：必要な資格の取得を可能にする体制をとる。意欲あるマルチスタッフを養成する。またスキルアップ、モチベーションを高める研修を実施し、職員の働きがいを高める。</p> | | | | |
| 11 | その他 | <p>公益財団法人群馬県青少年育成事業団ビジョン：公益財団法人群馬県青少年育成事業団の将来展望の指針として令和3年3月に作成。</p> | | | | |

- 注 1 申請書受付期間終了後、群馬県ホームページで公表します。
- 2 A4判2枚程度で事業計画書の該当項目を要約すること。
- 3 自主事業を行う場合は、収支計画書欄に自主事業を合算した数値を記載すること。